

# 「スマートホーム」実現に向けた取り組み

CE部会では、2016年度より、家電・AV機器・IT機器（PC / タブレット）・カーAVC機器のIoT化により新たな市場として期待される「スマートホーム」の実現に向け、日本電機工業会（JEMA）と共同にて、「スマートホーム特別委員会」を設置し、「スマートホーム」実現に向けた業界課題の抽出や対応策検討等を実施しました。

## 「スマートホーム」の目指すべき姿の具現化

「スマートホーム」とは、家庭内データの利活用により、生活空間のカスタマイズが可能となる新たな暮らしの形です。平成28年4月経済産業省 産業構造審議会 新産業構造部会において取り纏められた「平成28年新産業構造ビジョン中間整理」においても、「スマートホーム」が有力分野とされています。

CE部会では、あらゆる家電がネットワークに接続し、家あるいは家と連動した各種サービスを網羅した「安心・安全で便利・快適なスマートホームの姿」の具体化のため、①リビング、②キッチン、③居室、④外出先、⑤共有スペースの5つのシーン毎にグループワークによって、サービスの具体化を行い、82件のユースケースを描きました。

## 【スマートホームの具現化に向けたグループワーク資料図】

**【テーマ①】リビング**  
(家族構成：父(44歳)/母(40歳)/子供(5歳)/祖父(70歳))

**②真田家(東京)に住む子育て世帯(マンション)と実家(長野県)に住む独居老人【戸建て】**

◇真田家の家族構成(3人)  
・世帯主 35歳(会社員) ⇒ 実家の母親が心配  
・妻 32歳(会社員) ⇒ 保育所へのお迎え、家事の効率化  
・子供 5歳(幼稚園) ⇒ 幼稚園・保育所

◇真田家(長野)に住む独居老人(祖母【戸建て】)  
・祖母(別居)75歳(年金生活) ⇒ 子供、孫との交流、見守り、  
安心安全、オレオレ詐欺防止

**【長野の実家】** **【東京のタワーマンション】**

No.	開発製品	サービス内容	2016年12月13日 完成 予定	実 現 済
E1	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報	○	○
E2	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E3	カメラ、カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E4	カメラ、カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E5	RAC	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E6	RAC	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E7	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E8	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E9	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E10	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E11	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E12	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E13	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E14	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E15	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E16	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E17	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E18	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E19	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○
E20	カメラ	防犯監視カメラ、防犯カメラの 位置情報、入居履歴	○	○



スマートホームの実現にむけて

家電メーカーとしての取り組み

- 生活者の視点に立ち、様々なライフスタイルに合わせ、IoTの最新技術を活用した「安心・安全、健康、快適、便利」な製品・サービスの創出を進めています。
- ネットワークに接続された製品・サービスの安全を確保していきます。  
【製品、ネットワーク、サービスそれぞれの安全性の向上に努めています。】
- プライバシーへの配慮やネットワーク化によるセキュリティ向上に向けた技術開発を進めています。

政府・関連する様々な業界との連携

家電業界の枠を超え、住宅メーカーをはじめとした「衣食住」関連の様々な業界と連携することで、暮らしを豊かにするスマートホームサービスを提供していきます。

スマート家電に対応した業界でのルール作りを進めています。

生活者の安心・安全のために

スマートホームに対する不安の解消に向け、様々な活用方法の普及・啓発活動を進めています。

家内での様々なデータを、安心して有効活用できるように開発するサービスとして展開させていきます。

スマートホームとは、子育て世代、高齢者、障害者など、様々なライフスタイル/ニーズにあったサービスをIoTにより実現する新しい暮らしです。

住宅に設置されたセンサーや、様々なスマート家電、生活支援ロボットなどがネットワークで結びつくことで、暮らしが「安心・安全、健康、快適、便利」になります。

JEITA JEMA

2017年3月発表

スマートホームリーフレット

スマートホームが実現する生活

スマートホームが実現した近未来の生活では、ネットワーク、ビッグデータ、AI（人工知能）、センシングなどの先端技術と、連携したスマート家電やIoT機器を組み合わせることで、現在では考えられない様々なサービスの実現が期待されます。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子供たち、それぞれのスマートホームにおける生活の一部をご紹介します。

**快適**  
おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子供たち、それぞれのスマートホームにおける生活の一部をご紹介します。

**料理支援** (便利・快適)  
お母さんが食事の準備をするところです。AIが家族の好みや健康状態から最適なレシピをおすすめしてくれ、足りない食材があれば自動的に近隣のスーパーに注文してくれます。

**見守り** (安心・安全・健康)  
おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子供たち、それぞれのスマートホームにおける生活の一部をご紹介します。

**遠隔操作** (便利・快適)  
外出先からエアコンや生活家電を遠隔操作。帰宅時には快適な室温にしておくことや、お掃除を済ませておくことができます。

**エンタメ** (快適・便利)  
お父さんがVRシアターでAIのお勧めの映画を観賞中。音質が自動的にシアターモードに設定され、映画館にいるような臨場感で楽しむことができます。

ネットワーク接続が前提となるスマートホームでは、これまでの機器単体の安全担保だけでなく、機器やメーカーを跨ったシステム全体の安全担保という考え方が必要となります。また、万が一、リコールが発生した際にも消費者の皆様の安全を保全する仕組みが不可欠です。

「スマートホーム部会」として活動を強化していきます

スマートホーム分野の製品やサービスは、グローバル規模の企業サービスやアライアンスが乱立し、主導権を争っており、JEITA会員企業も、グローバルに事業展開をするケースが今後増加すると考えられます。

このような環境下において、JEITA「スマートホーム特別委員会」は、「スマートホーム部会」として、活動を一層強化し、電機・電子業界と政府とのパイプ役のみならず、関連業界との連携活動や消費者への啓発活動を強化し、また平成29年度経産省「スマートホーム実証事業」にも積極的に協力をしていきます。

「スマートホーム」分野は、家電業界の枠を超え、住宅メーカーをはじめとした「衣食住」関連の様々な業界と密接に関連します。

スマートホーム部会に関心のある多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【業界説明資料】

